

令和4年度

vol.5

看護しずおか



小川港 正月大漁旗（焼津市）

特集3

令和6年度
日本看護協会代議員及び予備代議員募集

特集2

上品で繊細、愛嬌たっぷりな平和主義
元気に跳ねて何するピョーン？

特集1

看護教育の今と未来

会員数

22,679名

（令和5年1月1日現在）

●保健師 …… 511名

●助産師 …… 887名

●看護師 …… 20,660名

●准看護師 …… 621名

予定されている研修・行事等については、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止あるいは変更することがありますので、ご了承をお願いいたします。ホームページでご確認ください。



公益社団法人 静岡県看護協会

静岡県看護協会

検索

<https://www.shizuoka-na.jp/>

【静岡県看護協会】
お気軽にご利用下さい。



令和5年

新年のご挨拶

(公社) 静岡県看護協会 会長
渡邊 昌子

新年あけましておめでとうございます。

新しい年を迎え、皆様が「平和で希望に満ちた年であるように」と願われていることと思います。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症(以下、コロナ)や台風15号の県内被害により施設や訪問看護ステーション等、対応に大変ご苦勞されたと推察いたします。その中で患者・利用者の皆様、職員の皆様の安全安心を第一に施設間が連携・協力し、業務継続ができる等ご尽力いただきました。皆様が県民の「命」と「暮らし」を守るために、それぞれの領域で専門職として、持てる力を最大限に発揮し、最善の看護ケアに尽力されていることに改めまして心からの感謝と敬意を表します。

本会においても令和元年から3年余、コロナに係る対応に奔走し、多くの時間を費やしました。一時、事業の中止・延期を余儀なくされましたが、役員・委員の皆様が創意工夫し、会員の皆様や県民の皆様のニーズにそった事業展開をして頂いています。また、これを機にICTの活用を進めることができました。

昨年は、①看護職連携から多職種連携へとネットワークの拡大と、一部県民が参画し地域包括ケアを推進 ②訪問看護出向研修支援事業の実施 ③災害支援ナース派遣への貢献と災害ボランティアナース養成 ④県受託事業のコロナ対応に潜在看護師を活用 ⑤医療的ケア児等支援センターの設置稼働等、多くの事業に取り組み、その成果を交流会やフォーラム・パンフレット等で皆様と共有し、事業の可視化に注力いたしました。

本年は、特に看護職の働き方、処遇改善の支援と感染や災害の有事の医療機関、在宅等の連携体制構築を検討してまいります。また、4月開講の感染管理認定看護師B課程を軌道に乗せ、専門分野の人材育成と看護の質向上に努めます。さらに地域共生社会の実現のために県民の皆様が参画し、ともに「命」「暮らし」を考える機会を事業に反映したいと思っています。

本年も会員の皆様の声を大切に、役員・職員一同一丸となり努めてまいります。引き続きのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

本年が皆様にとりまして、希望に満ちた幸多い年になりますことを心より願っております。



令和4年度 第4回定時理事会報告

■開催日 令和4年12月20日(火)

■会場 静岡県看護協会 第1会議室

出席：理事 19名 監事 2名 オブザーバー 2名

欠席：理事 3名 監事 1名

定款第38条に基づき、定足数12名を満たしていることを確認

1.協議事項 (すべての事項について承認される)

1) 令和5年度 静岡県看護協会 重点事業(案)

2) 令和5年度 教育計画(案)

2.報告事項

1) 令和4年度 会費納入状況

2) 令和5年度 自民党県連・厚生問題対策

連絡協議会への要望事項

3) 令和5年度日本看護協会名誉会員・会長

表彰候補者の推薦について

4) 「感染管理認定看護師教育B課程」の進捗状況について

5) 令和5年度年間行事予定・行事計画

県知事訪問

令和5年1月10日(火)、渡邊会長をはじめ、青木専務理事、櫻井常務理事、松井常務理事が年始の挨拶に県庁を訪れました。



先人に聞く看護の道しるべ

看護の仕事をとおして見えたもの

母子健康手帳《発育曲線の謎》

約半年間の育児専念期間を経て1975年4月に浜松市保健所に再就職、保健師として仕事復帰しました。当時は地方公共団体の行政改革が本格化し、浜松市は県から保健所機能を移譲されたばかりでした。保健師が担当する公衆衛生の主要課題は「結核患者管理」と「母子保健の向上」です。幼児健診では私が助産師時代に行っていた「乳児育児相談」の赤ちゃんが成長されて再会することもあり、我が子の成長と同じくらい嬉しかったものです。

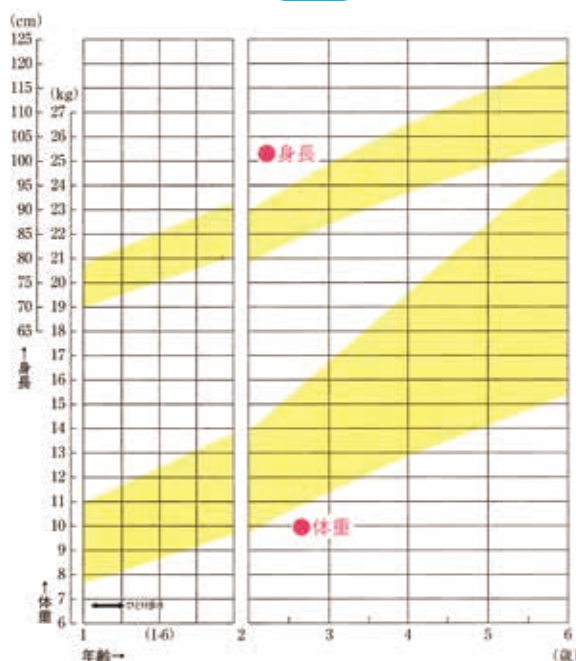
母子保健事業に携わり、大勢の母親の悩みや不安を聞く中で「当事者のふとした疑問や違和感」を丁寧に扱うことの大切さを痛感したことがあります。それは電話相談に寄せられた質問です。『低出生体重で生まれた子が2歳のお誕生日を迎えて検診を受けました。身長と体重を母子健康手帳の“幼児身体発育曲線”（※資料参照）に記入したところ、発育曲線の帯が2歳を境に下がっている。この意味を教えてください』というものでした。2歳の境目でカクンと段差のある発育曲線。見慣れていますし、段差があることも承知していました。しかし、説明ができない。答えを求めてあらゆる方面に問い合わせしました。先輩保健師、助産師、小児科医師、最後は県庁を経て厚生省（当時）の母子保健担当部署の専門官にたどり着きました。答えは「2歳前後で臥位計測から立位計測に変わるため計測値が小さくなる傾向。基となる調査データを忠実に処理したことによる現象」ということでした。合点！

しかも、専門官から「母子健康手帳を活用してくださる親御さんの視点ならではの、貴重な意見を届けて頂きありがとうございます。次回の改訂版で説明を加筆いたします」と、神対応のお返事を頂きました。この経験は私自身『相談を受ける者の姿勢』を意識するきっかけとなり、寄せられる相談に向き合う中でたくさんの気付かせと学びを頂くことができました。

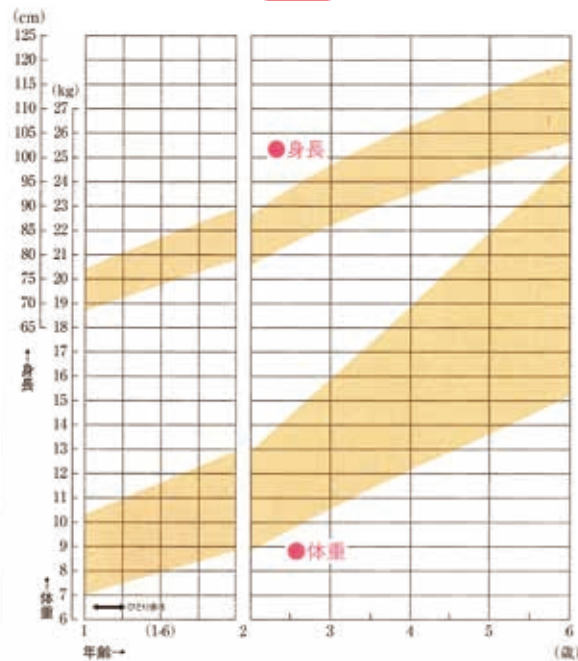
ひろめ
齋藤一路女

現在の幼児身体発育曲線

男の子



女の子



看護教育の今と未来

看護学生の学習環境が、新型コロナウイルス感染症の影響により、大きく変化しています。オンライン授業や臨地実習が学内演習となり、人と関わる時間や経験が減少しています。

そこで、看護教育現場の方々に現状を伺い紹介します。

静岡市立静岡看護専門学校

副校長 瀧 泉



本校は創立53年の学校で、ナイチンゲール看護論を基盤に、看護実践者を育てています。

今年度から始動した新カリキュラムでは「地域・在宅看護論」の内容を強化しました。静岡市駿河共生地区という絶好の環境を活かし、静岡市という地域、そこに暮らす人々の健康について理解を深めています。学生達の多くは、病院で働く看護師をイメージして入学します。しかし、地域の方々と関わる演習を通して、看護の対象は、本来地域の中でその人なりの暮らしをしている人であるという認識に変化しました。それは「人の生活過程を整える」という看護の本質につながることを学んでいます。

専門学校は、実践力のある人材の輩出が強みです。そのため臨地での体験が重要です。しかし、臨地実習において患者受持ちの承諾や技術の体験が年々難しくなっているように感じています。更にコロナによる実習への影響が追い打ちをかけています。

グループワークをふんだんに取り入れた授業形態、他職種の学生との連携ワーク、先輩が後輩に技術を教える共同演習など、教育現場は様々な取り組みをしています。まずは、今の学生達がどのような学びをしているのか知ってください。そして、近い将来皆さんと共に働き、医療を支える看護師の後輩たちを育てることに力を貸していただきたいです。



聖隷クリストファー大学

看護学部長 藤本 栄子



－本学のカリキュラム改革から考える看護基礎教育の今と未来－

本学の看護基礎教育の『今』は、2022年度新カリキュラムの特徴にあります。

特徴の**1番**は、建学の精神に基づく看護教育を展開するために、1年次に「聖隷看護基盤実習」を配置し、共に生きる環境の中で人との関わりを体験することを4年間の学修の起点とする。**2番**は、社会のニーズに応じて、地域・在宅看護をカリキュラムの中心に置き、地域社会の生活者を捉える知識と技を学修できるようにする。**3番**は、講

義・演習・実習を有機的に組み合わせる学修構造とし、講義から実践へのつながりを強化した教育方略により、知識の定着、技術習得、実践力の向上を目指す。4番は、Web上にポータルサイト教材を設定し、看護学各領域の看護の対象の個人・家族・地域及び制度に関する現実的情報を仮想コミュニティ上に構築、展開することで、本教材を活用する学生主体の新たな教育方法を確立できるように構成し、アセスメント能力を育成する。

本学の看護基礎教育の『未来』は、教員が一丸となってカリキュラム改革をやり遂げ、評価・改善を通して、創造性豊かに未来を切り開く力を身に付けた学生を送り出すことにあると考えます。



JA静岡厚生連するが看護専門学校

専任教員 加藤 衣織

●概要 看護学科3年課程 入学定員 男女35名

●特徴 JA静岡厚生連の関連病院や施設で、急性期・回復期・慢性期・在宅と幅広く臨地実習が計画されています。入院・治療を経て、住み慣れた地域へ戻るための支援として、多職種との連携や地域に根ざした医療、看護を学べます。さらに、臨床で活躍する卒業生から指導を受けられることも魅力の一つです。教科外活動である「リエゾン活動」は、学年を超えて同じ志をもつかけがえのない存在であることを基盤に、柔軟な発想で学生が様々な活動を計画・運営しています。



また、温かい看護を提供するためにも、学生自身が学校の生活において温かさを感じられるように教職員一同が試行錯誤しながら日々関わっています。教職員全体が助け合い、それぞれを尊重し合える穏やかな雰囲気です。

●教育の現状と課題 新カリキュラムでは各科目の繋がりを重視しました。学生の「もっと学びたい」を引き出せるような教育を目指し、ICTを活用した授業評価を通して教育全体の評価に力を入れることが課題です。

●今後の展望 様々な地域性を理解し「今」自分たちに求められていることを考えながら、地域貢献に取り組みたいと考えます。



上品で繊細、愛嬌たっぷりの平和主義 元気に跳ねて何するピョーン？

令和5年は、卯年です。今回は卯年生まれの方々に、頑張りたいこと、大事にしている看護、行ってみたいところの3つのテーマから選択していただき、抱負を寄せてもらいました。



頑張りたいこと

静岡市役所総務局職員厚生課 保健師 大塚 美里



私は産業保健分野で働き3年目になります。職員の健康管理を通して、生活習慣の見直しや心身ともに日頃からの健康管理の重要性を感じています。今年は息子が小学生になります。今までの生活が変わることに不安もありますが、子育てと仕事の両立をさらに頑張りたいです。

すずかけセントラル病院 看護師 後藤 晴弥



私は急性期の混合病棟に勤務しています。今年度は、心電図の学習に力を入れ、心電図検定を受検しようと考えています。心電図から患者様の状態がわかることもあるため、自分の知識を深めていきたいです！

富士市立中央病院 看護師 井上 涼子



脳神経外科病棟に勤務して3年目になります。日々の看護の中、多職種で連携し患者さんを支える楽しさを感じています。看護師とは異なる視点で患者像を捉え、専門知識に基づいた意見を頂けるので、新鮮で勉強になります。私も同じように多職種に良い刺激を与えられるように精進したいです。

三島中央病院 看護師 谷口 啓美



私は周手術期病棟で働いています。今年は、看護師4年目となります。リーダーとして、患者さんの持てる力を引き出し回復を支える看護を提供するために、日々のカンファレンス等に取り組み、看護チームの中でリーダーシップが発揮できるように頑張りたいです。

大事にしている看護

市立湖西病院 看護師 高柳 昌代



透析室に勤務し、4年目となります。透析治療は生涯必要となるため、患者さんとは長い付き合いになります。当院は高齢の患者さんも多いため、多職種、他部署とコミュニケーションを図り、患者さんが安心して治療を受けられる環境を提供していきたいと思います。

焼津市立総合病院 看護師 増田 珠子



小児科病棟で働いています。患児の訴えに気づけるように、発達段階に合わせた関わりを心がけています。また、患児自身が処置や治療を受け入れ、頑張る気持ちを引き出せる看護を行っていききたいと思います。

NTT東日本伊豆病院 看護師 風間 由香



私は二児の母です。育休後から新たな挑戦、予防医学科で人間ドック業務に携わり、主に内視鏡介助を行っています。保健指導では健康を保つ事の重要性を、分かりやすく受検者に伝える事を心掛け仕事をしています。「仕事も子育ても楽しく」がモットーの私。忙しい毎日ですが、丁寧に、楽しく、笑顔で駆け抜けます。

行ってみたいところ

浜松赤十字病院 看護師 松浦 和恵



「帰省できる日を楽しみに」そろそろ東北の実家に帰省しようかなと思ってた矢先、コロナ禍に突入。身内には医療関係者も多いため帰省には躊躇してしまい、気付けば震災後10年近く帰省できていません。三陸の海鮮・仙台の牛タン・硫黄臭い温泉に浸かりながら雪景色を眺めたい…気兼ねなく帰省できる日を心待ちに、コロナ禍を乗り越えたいと思います。

令和6年度 日本看護協会代議員及び予備代議員募集

タグライン

「生きるを、ともに、つくる。」代議員11名と予備代議員15名を募集します



令和4年度通常総会に初めて参加して

藤枝市立総合病院 看護副部長 森田 恭子

私は、看護師歴35年で初めて通常総会に代議員として出席しました。総会前、若干の不安がありましたが、当日、会場に着いたときは、職能集団が全国から集結した景色は壮観なものでした。総会や全国職能別交流集会では、議決事項や報告事項、活動報告により、看護管理者として活動する上での基盤となるものを確認できました。また、総会は『人づくり』の機会でもあります。コロナ禍でありましたが、県内の代表者の皆様と交流でき、自身は看護学生時代の友人にも再会し、よい思い出になりました。私にとって貴重で充実した2日間でした。



代議員の一日

1日目



朝 出発



通常総会

総会会場



自由に交流

2日目



朝 出発



職能集会

総会会場



ちょっと観光・ショッピング



帰宅

代議員・予備代議員について

代議員は日本看護協会議決権を持ち、協会の政策に意見を反映することができます。看護職としてひとりひとりが「生きるを、ともに、つくる。」ために代議員として総会に参加してみましょう。代議員・予備代議員になると、総会の内容を理解するために研修を受けることができます。予備代議員は代議員が欠けた場合に備えた代議員です。

令和6年度日本看護協会総会の開催日程及び会場は、日本看護協会ニュースで公示されます。全日程への参加ができる会員の方に限ります。看護協会の事業に参画するチャンスです。なお、費用は協会が負担します。積極的なご応募をお待ちしています。

応募期間：令和5年1月27日(金)～2月20日(月)

応募要領：右記QRコードから申し込み(施設会員の方は、代表者を通じてお申し込みください)

応募多数の場合は、推薦委員会にて公平公正に選出させていただきますことをご了承ください。

問合せ先：公益社団法人静岡県看護協会 選挙管理委員会 TEL.054-202-1750



人の一生を支える看護職

看護職の仕事は傷病者や妊産褥婦の療養上の世話をしたり、診療の補助を行うことですが、病院や診療所だけでなく、訪問看護ステーションや福祉関連施設、企業、行政などの活躍の場は広がり、看護職に対する期待も大きくなっています。そこで、県内の様々な場所で働く看護職を紹介します。

私が支えているもの



訪問看護ステーション
そよかぜ
稲村 啓子

訪問看護に携わる前は、一般病院で勤務していました。患者さんや家族のニーズを叶える看護を目指していましたが、忙しさから思いを聞き出すことすら満足にできないジレンマと、子育てしながらの夜勤が負担になっていた事もあって、訪問看護に挑戦する事にしました。

訪問看護を始めて患者さんや家族のニーズを叶えようと日々奮闘し、忙しいながらも充実した看護を提供できる喜びを感じていましたが、一方で、夜間や休みも関係なく患者さんや家族から連絡が入る事がありました。今でこそ働き方改革もあり、緊急待機の看護師が対応していますが、その頃はつい自分がと無理をして一人で抱え自分の時間

を犠牲にすることが沢山あり、それが大変と感じる事が増えていた頃でした。ある患者さんに「手を触っていい？」と聞かれ、手を差し出すと、両手で私の手を握り「温かい手、この手で沢山の人を救ってきたのね」と言われ、あまりの嬉しさにその場で涙が流れるのを我慢して帰ってきました。その言葉は、自分を犠牲にしてきたと思っていた時間も気持ちも全て吹き飛ばしてくれました。私は、看護で人を支えていると思っていましたが、そうではなく自分が支えられて、人生に潤いを与えて貰っているからこそ、自分らしく生きられているのだと気づきました。それから訪問看護に携わり、今年で17年目を迎えます。

コロナ禍でも地域を元気に



静岡県健康福祉部
新型コロナ対策企画課
川田 敦子

終わりが見えない新型コロナウイルス感染症対策では、医療機関始め関係機関の御協力により何回もの危機を乗り越えてきました。その中、保健所で働く保健師は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を最小限に食い止めるため、積極的疫学調査を行うフェーズからスタートし、現在まで陽性者への対応に走り続けてきました。医療の逼迫により受診がままならず、保健師個人が責められることもありましたが、何より県民

の皆様が不安な思いをする状況で、専門職として抱く無力感は計り知れませんが、感染症対策は、陽性者の個別対応はもちろんですが、日頃から県民の皆様に必要な情報を確実に届け、保健・医療・福祉の環境を整える、公衆衛生上の予防活動や健康リテラシー向上にも取り組んでいます。目の前の「患者」「感染症」の対応に留まらず、地域を元気にするという本来の役割を果たすべく、地域で働く保健師はなお走り続けます。

心に寄り添う



浜松市国民健康保険
佐久間病院
神谷 美保

以前は、都市部で働いていましたが、幼少の頃居住していた中山間地域に戻った事がきっかけとなり、現病院で働き始めました。高齢化率60%を超える地域であり、患者さんの多くは高齢者です。患者さんの中には、疾患による苦痛、環境の急激な変化により認知機能が低下し、BPSD・せん妄を発症し対応が難しい患者さんがいます。看護師の対応で、BPSD・せん妄が悪化、改善していく過程を経験する中で、認知症看護に興味を持ち、パーソン・センタード・ケア

の概念を学びました。認知症を有する患者さんは、意思表示したいと思っても、うまく言葉として伝えられず、理解されないまま一方的なケアを受けることで、さらに苦痛が強くなります。身体的・心理的苦痛の中で、不安や苦しみを抱えながら治療を受けることがないように、患者さんの心に寄り添い、尊厳を持って、必要なケアが提供でき、安心して治療が継続できる手助けとなるよう、今後も学び続けたいと思います。

静岡県受託研修

令和4年度 看護教員継続研修

～新任期教員研修&実習指導者と共に学ぶトピックス研修～ オンライン開催しました

教育研修部 大関 和子

新任教員の不安や戸惑いなどの経験をナラティブで共有し、田村由美講師によるリフレクションを行いました。自己の実践経験から肯定的な受けとめと今後の手がかりがつかめました。トピックス研修は、西村礼子講師によりコンピテンシーに基づき、学びを進める授業・研修設計へのICT活用の基本と臨床での学生指導に活用できる具体的な実践方法について学びました。演習を通してICTを使う事が目的ではなく、どう用いるかを学べており自分の教育活動を見直しできた研修となりました。



「今、求められる外来看護」研修

教育委員 原 磨美

関西看護医療大学の箕浦洋子氏を講師に迎え、診療の補助だけではない外来看護のあり方や、今求められる外来看護へのシフトについて学びました。外来看護師の専門性とは何か、外来看護を実践する上で大切にしたいことは何かを踏まえ、受講者は施設の機能や地域で求められる役割の再確認をした上で、互いの課題を共有しながら解決に向けて活発に意見交換をしました。受講者からは「変化する時代の中で、外来看護師が患者に視点を向ける大切さを改めて考える機会となった」との意見があり、学びの深い研修でした。



教育研修部からのお知らせ

下記の研修は募集開始が早いため、静岡県看護協会のホームページに掲載しますので、会員の皆様にお知らせします

- 認定看護管理者教育課程ファーストレベル
- 認定看護管理者教育課程セカンドレベル

※認定看護管理者教育課程サードレベルは令和5年度の開講はありません
令和5年度教育計画(リーフレット)は3月中旬～下旬頃の発送となります

職員紹介



日々、私たちの健康を支えてくださる医療従事者の方々には感謝しております。
私は教育委員会の研修を担当いたします。受講者の皆さんが有意義な時間を過ごせるようサポートいたしますので、よろしくお願いいたします。
始澤 祐実



「暮らしをつなげる看護職員のための研修」を終えて

令和4年7月26日から12月6日の中で、4日間研修を開催しました。「対象者の居場所が変わっても、病院と在宅をつなぐより良い看護ケアを構築する」という目標に向けて56名の受講者が参加しました。4回目の研修は、悲願であったグループワークを、感染予防対策を行い集合形態で実施できました。

ステップ1 熱いグループ討議



ステップ2 事例を時系列に伴走し課題を見出す



ステップ3 グループの気づきを共有



3つの研修を通して見えてきたもの

その他「看護職員認知症対応力向上研修・オンライン」では78名が受講し、内32名が立案したアクションプランを実施し認知症ケア体制構築に寄与されました。また「病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修・オンライン」は、コロナ禍においても902名が受講されました。

以上、3つの研修受講者から共通して、実践に向けては日々の臨床現場で気づく倫理的問題への対処が課題と実感できました。次年度は、看護倫理のスキルを磨くという内容を企画へ盛り込む予定です。

訪問看護職員の病院研修での学び



訪問看護ステーション浅田 看護師 新井良子

今回、訪問看護職員の病院研修事業により浜松医療センターで5日間研修させて頂きました。研修目的は、①病院の入退院システムを知り、円滑な在宅療養へ推進できるよう訪問看護師として何ができるか具体的な方法を見出す事②より良い連携ができるよう病院との連携方法を明確にする事です。実際の現場を自分の目で見て感じるこの研修は、どんなに教科書を読んでも学べない貴重な経験となりました。研修で一番感じた事は、一方通行の情報提供では意味がないという事でした。例えば、訪問看護から提供するサマリーは、病院が必要としている生活状況やキーパーソンの情報が、わかりやすく記入されているか？また、サマリーが届く時期は適切か？等々。病院の入退院システムの流れと訪問看護の情報提供をすり合わせて見直すだけでも、スムーズな退院支援、在宅移行に繋がると思います。また、病院スタッフの方々が、想いを込めて退院調整されている気持ちも今回とても感じる事ができました。それに対しレスポンスを返すということも訪問看護師に求められている事だと感じました。一方通行ではない情報共有をお互いが歩み寄りながら取り組んでいければ、連携力は深まると思います。今回の貴重な学びを伝えていく難しさもありますが、今、私に出来る事として「退院された利用者さんの状況をレスポンスとして病院に返す事」からまずは取り組んでいきたいと思っています。

お知らせ

「看看連携を基盤とした地域包括ケア推進支援事業 6年間の活動報告書」を令和5年3月に発刊します。「看護ずおかvol.6」とともに皆様の施設へお届けします。ぜひご覧いただき、地元で活動中のチームを応援してください。

ナースセンターだより

お知らせ

※相談・研修は看護職であればどなたでも受けられます。

注) 新型コロナウイルス感染状況により変更する可能性があります。事前にホームページで確認、
又はお電話で確認をお願いいたします。 ホームページはこちら▶



お知らせ

1 移動相談(予約不要)

県下16のハローワーク等に看護職の就業相談員が出向き、就業についてご支援します。お近くの会場にお出かけください。下記の日程で実施、ハローワーク浜北以外では求人施設が参加するミニ相談会も実施しています。

開催時間: ホームページで確認してください(掛川と浜北は午後)

ハローワーク	下田	伊東	三島	沼津	富士 (大黒屋ビル)	御殿場	清水	静岡	焼津 (Biviキャン)	島田	掛川	磐田	浜松	浜北	細江	湖西 (新居地域センター)
2月		28日	28日	21日	14日		21日	8日	3日		6日		8日	28日		17日
3月				22日	14日	28日		8日	3日	20日		14日	8日		28日	

2 復職支援、就業継続のために

受講料無料です。お気軽にお近くのナースセンターへご相談ください。

- ① 厚生労働省「新型コロナウイルス感染症対応看護職員等の人材確保事業」感染対策スキルアップ研修
いよいよ2回で終了です。座学と演習で感染対策を再学習。疑問点については講師の感染管理認定看護師に
直接聞けるチャンスです!! (申し込みは本所まで)

2月16日(木) 9:30~12:10 掛川市生涯学習センター

2月22日(水) 9:30~12:10 三島商工会議所

- ② 復職支援用研修e-ラーニング おうち時間を有効活用!!

・最新の医療・看護知識(10コース 73テーマの講義と8テーマのチェック動画)をご自宅で学べます

- ③ 看護技術演習

・採血、口腔・鼻腔吸引、手洗い、筋肉注射等の演習です(日程はホームページでご確認ください)

3 ナースのお仕事フェア 開催決定!(入場無料・直接会場へ)

日程	会場	場所
2月18日(土) 10:00~13:00	浜松市浜北文化センター 大会議室	浜松市浜北区貴布祢291-1
3月 3日(金) 9:30~12:00	Bivi藤枝 セミナー室	藤枝市前島1丁目7-10

- ・地域の施設担当の方と直接相談できるチャンスです
(参加施設はホームページをご覧ください)
- ・退職や転居予定のある方、将来の働き方を考える方のご来場をお待ちしています

悩みは誰かに話しましょう

話した内容が他の人や職場に伝わることはありません。無料!お気軽にご利用ください。

悩みごとや愚痴など何でもお話しく下さい。あなたに寄り添ってお聴きします。一人で悩まずお話ししてみませんか?

054-202-1780 / 新人専用の悩み相談 090-2183-8734 毎週水曜日9:00~16:00

メールでも相談できます ▶ nayamishido@za.tnc.ne.jp 新型コロナウイルス感染症に関する悩み相談は 070-4495-8644

(公社)静岡県看護協会 静岡県ナースセンター

相談時間/9:00~16:00

本所のみ火~木曜日は18:00まで

本 所: TEL 054-202-1761 FAX 054-202-1762

東部支所: TEL 055-920-2088 FAX 055-928-5037

西部支所: TEL 053-454-4335 FAX 053-401-3510

下田相談所(毎週木曜日9:00~16:00): TEL 080-2650-0327

天竜相談所(毎週火曜日9:00~16:00): TEL 080-2650-0237

皆様からお問い合わせが多い「災害支援ナース登録に必要な条件」をお知らせします！

- 【条件】 1 県内8地区支部開催の「災害看護地区研修」と各地区で開催される「防災訓練」
※案内は各地区支部から各施設に入ります
- 2 災害支援ナース育成研修
①12月頃開催のDVD研修(2日間)と②1月頃開催の育成研修(2日間)
- 3 対象者は、県協会会員で看護師経験5年以上の1と2の修了者
- 4 登録には、1と2の修了証が必要
- 5 所属施設がある場合は、看護代表者等の承認を得ること

令和2～4年度までは、感染症拡大による登録に対する救済措置も行っています
詳細は静岡県看護協会(054-202-1750)までお問い合わせください

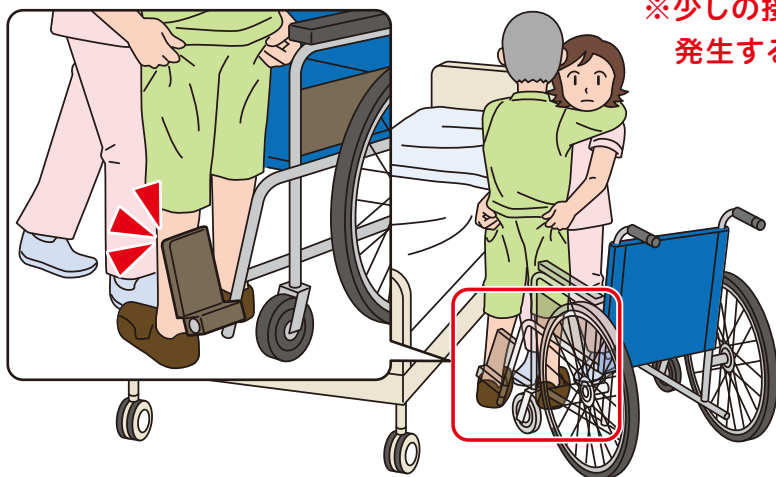
医療安全情報
2022年度 第5弾

医療安全推進のための取り組み

働き続けられる職場づくり推進委員会

車椅子のフットレストによる外傷

事例のイメージ



参考 公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療安全情報No.147

患者の下肢が車椅子のフットレストに接触して外傷を生じた事例が報告されています。皮膚が脆弱な患者の場合、皮膚損傷を生じる可能性が高まります。

※少しの接触でも皮膚の裂傷(スキン-テア)が発生する場合があります。

事例が発生した 医療機関の取り組み

- ・患者の状態を把握し、介助方法や介助する人数を検討する。
- ・フットレストにカバーをつける。
- ・皮膚が脆弱な患者の移乗時は、スポン靴下などを着用して下肢を保護する。

🎉クイズに答えると、抽選で10名様にQUOカードが当たる!🎉



問題

看護基礎教育で
今年度から始動した
新カリキュラムの科目は
何でしょうか？

「Vol.4」のクイズの答え: IBCLC

当選者

松下昌子様・rama様・八木貴子様・りゅうはは様・
ゆうちゃん様・遠藤さよ子様・かとちん様・
中村弘美様・木村舞奈様・中村珠実様

応募方法

葉書又はメールで①答え②氏名③所属④電話番号⑤〒⑥住所⑦看護しずおかの感想⑧看護協会へのご意見をお書きのうえ、下記宛にお送り下さい。正解者の中から、抽選で10名の方にQUOカード(1000円分)を差し上げます。当選者は「Vol. 6」に掲載します(ペンネーム可)

■葉書の宛先

〒422-8067 静岡市駿河区南町14-25
静岡県看護協会総務部 看護しずおかクイズ係

■メールの宛先

kango@shizuoka-na.jp
又はQRコードから



応募締切日 2月24日(金)

読者の の 広場

看護協会で悩み相談してくれているのはありがたいです。

来年から娘が看護師の仲間入り。
いつか二人で何かの企画に
登場したいです。